

2018年10月16日(火)に高田馬場にある東京ヘレン・ケラー協会の点字出版所と点字図書館を見学しました。

ここでは、視覚障害者が自立できるような支援を行い、また編集・出版や図書の貸出しによって情報を提供しています。



理事長の馬場敬二氏から東京ヘレン・ケラー協会について、またヘレン・ケラー学院の大久保美智子氏から昨今の視覚障害者を取り巻く環境についてお話を伺いました。



ヘレン・ケラー女史は三度来日し、二度目の来日を記念して集まった基金により協会は発足しました。また、その来日は身体障害者福祉法制定の契機となりました。ヘレン・ケラー女史の残した功績の大きさに改めて気付かされました。



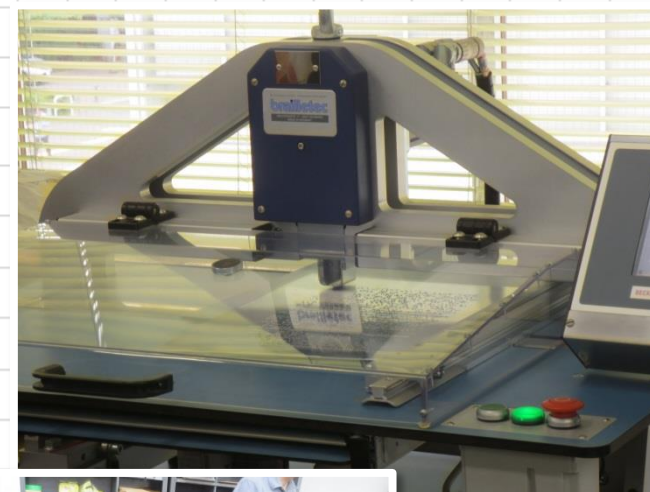
点字図書館



貸出用点字図書、テープ図書や録音図書「DAISY 図書」が並ぶ書架。点字図書館がボランティアの協力を得て製作しています。

編集室

製版課で入力した点字出版物のほか、「点字ジャーナル」を月刊で編集し発行していること、また晴眼者と視覚障害者が協力し校正を行っていることを教えて頂きました。



印刷室

原版をもとに、1ページずつ印刷そして1冊ずつ丁寧に製本。また高速平板印刷機による印刷も見学しました。



製版室

亜鉛の原版の制作現場。図などは一点一点手作業で作成されていて、まさに職人技でした。

